



2021年8月12日

各位

会社名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 壺井 成仁
(コード:6574 東証マザーズ)
問合せ先 人事総務・広報部部长 木村 恵美
(TEL. 03-3770-1190)

業績予想に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日に公表した「2021年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」において未定としておりました2022年3月期の連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	1,616	△313	△318	△217	△217	△96.46
今回発表予想(B)	2,390	100	100	60	60	26.49
増減額(B-A)	774	413	418	277	277	
増減率(%)	47.9	—	—	—	—	

2. 公表の理由

新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響を合理的に算定することが困難なことから、2022年3月期の業績予想を未定としておりましたが、「新型コロナウイルス感染症による影響は2022年3月末までに概ね改善するものの、コロナ禍前の水準まで回復するにはさらに一定の期間を要するもの」と仮定し、直近の業績動向等を踏まえ業績予想を算定しましたので公表いたします。

売上収益は、現在も一部商業施設内の店舗で時短営業を余儀なくされておりますが、ジェルネイルの新たなメニューやデザインを導入するなど新規顧客の獲得とリピーターへの移行促進に取り組み、来店客数及び客単価が回復傾向にあることから、前期比47.9%増の2,390百万円を見込んでおります。

損益は、前期比での大幅な増収に加え、ジェル硬化用UVランプのLED化や新型スチームオフ(e.g. 2)導入などコスト削減及び生産性向上の取り組みが業績に寄与し、黒字に転じると見込んでおります。

以上

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものです。今後の新型コロナウイルス感染拡大による市場環境の変化等、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。